

馬詰研究奨励賞海外研修等実施報告書

令和 3 年 8 月 2 日

工 学 研 究 科 長 殿

所 属： 建築学 専攻
課 程： 博士後期課程 3 回生
氏 名： 早川 健太郎

研修の目的	イギリスの University of Cambridge の Prof. Simon Guest の指導のもと現地ポスドク研究員とのディスカッションも交え、渡航者の博士課程での研究テーマである剛体折紙の剛性，安定性に関する共同研究を行い，剛体折紙のモデル化に関する理論の新たな視点での整理と発展を試みる。		
研修の期間	2022/5/9 ~ 2022/7/29 (81 日間)		
研修の実施先	日程	滞在地	研修実施機関名等（指導教員名）
	2022/5/9 ~ 2022/7/29	Cambridge, UK	University of Cambridge 指導教員：Prof. Simon Guest
研修の概要	渡航者および現地研究チームの知見を共有・融合し，剛体折紙の剛性，安定性を解析するための新たな数理モデルの開発を行った。研究の進捗等を現地指導教員およびポスドク研究員との web 会議システムおよび対面での週 1 回の面談で共有し，研究の方向性や問題点等に関する議論を行った。		
研修の成果等	既往研究では考慮できていない条件下での解析が可能な数理モデルを開発し，いくつかの計算例での検証を行った。これにより，これまでの研究では得られていなかった結果が得られるとともに，興味深いいくつかの未解決問題も得られた。今回の研修期間内で十分な結論が得られたものに関しては，査読付き論文としての発表を前提に原稿の作成を帰国後にも継続中であるとともに，未解決問題に関しても議論を継続する予定である。		
そ の 他 ※本海外研修経験による将来の抱負等	所属機関以外の海外の研究者との共同研究という貴重な機会を得て，国や所属機関にとらわれず，幅広い背景をもつ研究者と共同研究を実施することで得られる気付きや発展性の大きさを実感した。今後，研究者として国際的に活躍することへのイメージやモチベーションが研修前よりも高まった。		